

第2回長野県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療制度運営協議会概要

日 時：令和6年2月8日（木）

午後1時30分から午後3時

開催方法：Zoomによるオンライン開催

【出席委員】

中村会長、溝口副会長、宮島委員、松下委員、湯本委員、新津委員、加賀美委員、金井委員、清水委員、奥村委員

【会議概要】

1 開会

（委員14人中10人出席。過半数の出席により会議成立。）

2 中村会長あいさつ

3 会議事項

（1）令和6・7年度の保険料率の改定について

（「資料1」について、業務課保険料担当係長から説明。）

（2）令和6年度当初予算の概要について

（「資料2」について、総務課財務係長から説明。）

（3）第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）について

（「資料3」について、保健事業室保健事業係長から説明。）

◆（保険医等代表）

医療費が年々増えているのですが、この原因は何か分析できていれば教えてください。

（保健事業係長）

細かい分析はまだできていませんが、医療費が高い市町村の原因は何か分析をしているところです。結果が出ましたらまたご説明させていただきたいと思います。

（保険医等代表）

いろいろな要因はあるとは思いますが、医療機関での違いもあり、分析しきれないかなとも思います。循環器疾患が非常に増えていてどうしていくかということですが、特定健診の受診率が伸び悩んでいます。また受けていただいても、高血圧、高脂血症、糖

糖尿病は痛みや辛さがあまりないので自覚がわからないため、治療をドロップアウトしてしまう人もおり、医師がどれだけこれを治療につなげていくかが課題だと思います。質の高い医療を続けていくためには家族のサポートも必要だと思いました。

また歯科健診の受診率も伸び悩んでいるということで、歯周病から循環器疾患に合併してくるということは明らかなことなので、昔に比べると歯医者さんにちゃんと通っている高齢者が増えている印象がありますが、より健診を受けることを啓発していくことが大事ななと思いました。

計画については、素晴らしいものになっていますので、これで十分だと思います。

◆（保険医等代表）

歯科健診の受診率が伸び悩んでいるという状況でして、歯周病は自覚症状がないので状態が悪くて歯科医のところに来た時には歯を抜かなくてはならない状況がほとんどです。歯科健診事業を通じて生活習慣病の重症化予防や、フレイル予防が関係するところになってきます。

歯科医師会でも健診の受診率の向上を大きな目標としており、今までは健診受診率の向上だけだったのですが、令和6年度は後期高齢者の歯科口腔健診受診率の向上について取り組む予定になっております。高齢者の場合こういった媒体でとなると、テレビ・ラジオが主力になってくると思います。

また、お口の健康推進委員育成事業ということで、長野県食生活改善推進員や保健補導員や市町村の歯科保健担当者など、地域で歯科口腔保健を普及・推進していただく方々を対象として研修を行っています。その中でもオーラルフレイル予防を含めた健診の重要性をお話しさせていただいています。この事業については市町村の動きが大事なものとなってまいりますので、そちらにアプローチしていくのに御助言していただければと思います。

◆（医療保険者代表）

データヘルス計画の中で一体的実施事業が大事だと感じています。一体的実施事業の進捗状況がわかる指標はそれぞれの事業単位で連携している市町村数などでわかると思います。どのように市町村との連携を進めていこうとしているのか教えてください。また、健診結果を活用した市町村数が伸びていないように感じますが、こういったところがこの計画の目玉になっているか教えてください。

（保健事業係長）

広域連合と市町村の連携については、市町村を対象にした担当者説明会や、意見交換

会を行っています。こちらからの一方的な情報提供だけでなく、市町村で困っていること、議題にしてほしいこと、先進的に取り組んでる市町村に聞いてみたいことなどを事前にお聞きして会議を行っています。

できるだけ市町村には事業を行ってもらいたいと思っているのですが、それぞれの健康課題や限られた人員の中での優先順位がありますので、全部の事業をすべての市町村がやっていただく状況にはありませんけれども、会議などの機会をとらえてこちらからもできるだけ情報提供をして、支援をして、実施市町村を増やしていきたいと考えています。

(医療保険者代表)

広域連合の熱意が市町村に伝わって、このデータヘルス計画が浸透していくようにがんばっていただければと思います。

5 その他

特になし

6 閉会